

Title	インターネット動画配信を利用したビジネスモデルの考察
Sub Title	
Author	天沼, 晃久(Amanuma, Akihisa) 姉川, 知史
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2006
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2006年度経営学 第2110号 不可
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002006-2110

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

論文要旨

所属ゼミ	姉川	研究会	学籍番号	80530045	氏名	天沼 晃久
(論文題名)						
『インターネット動画配信を利用した ビジネスモデルの考察』						
(内容の要旨)						
<p>本論文は、ネットとメディアの融合がどのように進展していくかという筆者の興味に端を発し、実際にはインターネットのブロードバンド化の普及により、動画(Movie)に関して、どのようなサービスが現れ、それが既存のビジネスにどのように影響を与えるかを研究したものである。</p> <p>論文を2部構成にし、第1部ではインターネットを配信手段とした動画配信に係わる現状の全体的な理解と整理を行った。第2部では、ビジネスモデルをポッド・キャスト、動画投稿サイト、ビデオ・オン・デマンドの3つに限定し、日本と米国の状況を中心に具体的なサービスに関する動向の調査を行なったうえ、各ビジネスモデルの見解および将来の予測を試みた。</p> <p>研究の手順は、まずインターネットや出版物で基本的な情報収集を行い、その後関連企業や業界の関係者からのインタビューを通じて正確な現状を理解することを試み、そして最終的に各ビジネスモデルに対する見解をまとめた。</p> <p>各ビジネスモデルの発達の仕方は、ポッド・キャストと動画投稿サイトは、他のIT技術やサービスと同様に、米国で始まり日本が追随または利用するというパターンで普及しつつある。一方で、ビデオ・オン・デマンドに関しては国内においてはTVの代替的な位置づけで広がりつつあるのに対し、米国ではDVDの置き換え、特にビデオ(DVD)レンタルストアの代替手段として位置づけられて発達している。</p> <p>そして調査の結果、ブロードバンドによる動画配信環境の普及で5年以内に一番大きな影響を受けるのは、レンタルビデオ業界であり、一番有望なビジネスはビデオ・オン・デマンドによる映画やテレビ番組を中心とした有料コンテンツの配信によるビジネスであると結論付けた。</p>						